

A. 「循環コミュニティバスの運行について」

提出先 倉敷市長 伊 東 香 織

提出月日 平成20年11月25日

理 由

中心市街地の活性化に対する貴当局のご熱意とご尽力には深甚なる敬意を表する次第です。

さて、当所ではかねてより運輸交通委員会を中心に、循環コミュニティバス運行の調査研究に取り組んでおり、これまでに金沢市の「フラットバス」の視察をはじめ高山市の「のらまいCar」、一宮市の「iバス」、川越市の「小江戸循環バス」、武蔵野市の「ムーバス」の視察を実施いたして参りました。

そして、平成14年度からは流通委員会・運輸交通委員会・観光委員会合同で定期的に検討を重ね、平成15年度には「くらしきTMO」も参加し先進地である金沢市を再度訪問し、詳細を研究し、その後倉敷市建設局交通政策課のご指導を受けながら、平成18年10月には具体的に街なかを中心に2ルートで実証実験を実施、好評を得たところであります。

なお、視察した各地とも運行目的は、交通不便地域を解消し、高齢者や小さな子ども連れなどの交通弱者をふくめた全ての人々が気軽にまちなかに出られるようにすることと、観光客の回遊の利便に資するものであります。

同時に、小型低床循環バスの導入はマイカーに代わることが期待され、今日深刻な問題となっております自動車排出ガス対策としても、地球の温暖化防止に寄与することができ、安全で住みよい交通社会の実現を図る上で有効な事業であると思われれます。

そこで当所では、貴当局と相談しながら、平成21年の連休にあわせ本格運行するため、商業者、観光関係者、交通関係者などで構成した実行委員会及び作業部会を設置し毎月会議を開催しながら検討を進めております。

貴当局におかれましては、きびしい財政状況の折りがら種々ご事情のありますことと拝察いたしますが、循環コミュニティバスの運行をぜひとも市民のため実現していただきますよう、当所常議員会の決議により要望いたします。